

■PIRセンサ(赤外線人体検知センサ)の特徴について

HS-200/600/300FHD/400FHD/700FHD/HSK-500には、PIR(赤外線人体検知)センサーが搭載されています。PIRセンサーは、温度の変化を検知します。下図の様な場所(図1~6)に設置した際、人がいない場合でも作動することがあります。

その他注意事項

- ・センサの前を横切った時、敏感に反応がでます。センサに向かって直進してくる物体に対しては極端に検知が鈍くなります。
- ・夏は室内等も温度が高くなります。人の体温と設置場所の温度差が小さい時、検知が鈍くなります。時に検知しない場合があります。

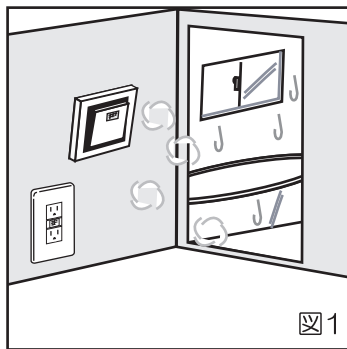


図1
急激な温度の変化がある場所
例：浴室、洗面所など

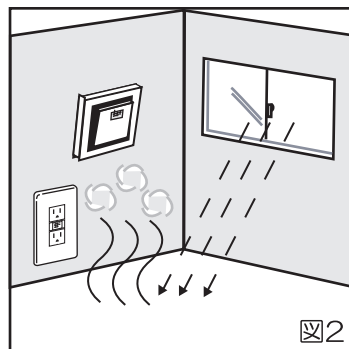


図2
直射日光が強く当たる場所、
または反射する場所

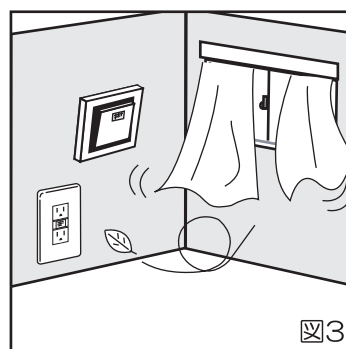


図3
検知エリアに動体がある時
例：カーテン、ペットなど

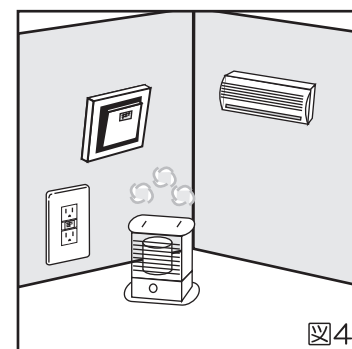


図4
過度の温度変化がある場所
例：エアコン、ストーブなど

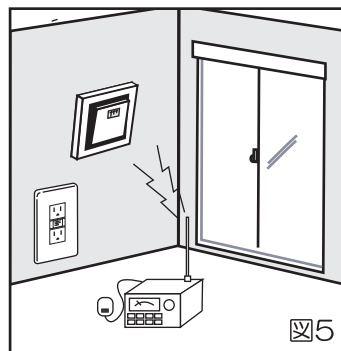


図5
強い電波が存在する場所、
強い電磁波が出る場所。

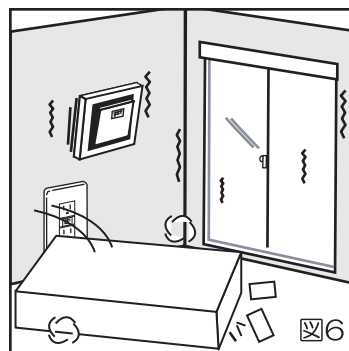


図6
激しい振動がある場所

また、下記の様な環境では(図7、図8)動作しない場合があります。

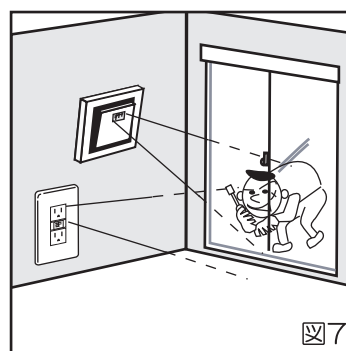


図7
検知エリアに障害物がある場合①
例：ガラス

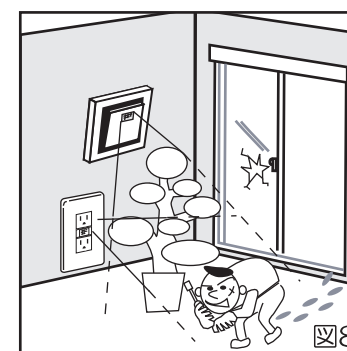


図8
検知エリアに障害物がある場合②
例：観葉植物など